

第六次鳥羽市総合計画後期基本計画（案）  
に対するパブリックコメントの結果について

# 第六次鳥羽市総合計画後期基本計画（案）に対するパブリックコメント概要

## （概要）

- 鳥羽市では、第六次鳥羽市総合計画基本構想（令和3～12年度）で示された将来像「誰もがキラめく鳥羽 海の恵みがつなぐ鳥羽」の実現のため、基本計画に基づいた施策体系を整理し、総合計画審議会での評価を踏まえながら取り組みを進めています。
- 現行の基本計画である「前期基本計画」が令和7年度をもって期間満了となることから、令和7年3月31日総合計画審議会答申等を踏まえ、まち・ひと・しごと創生法に定める本市の地方総合戦略とその基礎となる人口ビジョンを包含した一体的な計画として、後期基本計画（令和8～12年度）の策定を進めています。
- 後期基本計画の策定にあたっては、市民アンケートやオンライン意見募集等のほか、総合計画審議会による審議等により検討を行ってまいりましたが、新たに令和8年度～12年度を計画期間とする計画策定を進めており、より広く市民・関係事業者の皆様からのご意見を賜りたく、下記の要領でご意見を募集しました。

## （パブリックコメントを実施した計画）

第六次鳥羽市総合計画後期基本計画（案）

## （計画案の閲覧と意見募集期間）

令和7年12月16日（火）～令和8年1月13日（火）

## （計画案の閲覧場所）

市ホームページ、市役所本庁舎2階（総務課）、市役所西庁舎1階（市民課）、保健福祉センターひだまり（健康福祉課）、鳥羽マリンターミナル（定期船課）、各連絡所、市立図書館

## （意見の提出方法）

オンラインフォーム、郵送、メール、窓口持参、意見書箱への投函

# 第六次鳥羽市総合計画後期基本計画（案）に対するご意見と対応等（1/2）

（意見応募結果）

○ 提出意見数 6件

※ いただいたご意見と市の考え方・対応は下記表のとおり。

いただいたご意見	市の考え方・対応
<p>構成全般について 大きなくくりで施策分野ごとにページ編成し、指標設定、施策の展開などを示したことは簡潔明瞭でよい。特に指標は「市民アンケート満足度」を含む3本にまとめられ、すべて市民目線に立ったわかりやすいものになっていると思う。施策の展開についても、見出しの標記を含め、具体的な取組としてどのようなことが行われるのか分かりやすい。全般を通して簡潔明瞭に体系化された構成は、鳥羽市の最上位計画にふさわしいと思う。職員の皆様、お疲れさまでした。</p>	<p>引き続き、計画策定に努めてまいります。</p>
<p>P.24 見出し文について 「2 まちづくりの目標ごとの基本方向と主要な取り組み」とあるが、この「まちづくりの目標」とは何を指すのか。前期基本計画には施策目標が設定されており、見出しの下文にも「それぞれの施策目標ごとに」と記載もあったことで、施策目標を指すものと理解していた。後期基本計画（案）では施策目標が設定されていないため、何を指すのか理解ができない。</p>	<p>ご指摘を踏まえ、「2 施策分野ごとの基本方向と主要な取り組み」に修正します。</p>
<p>P.27 現状と課題 2つ目「■離島を含む～学校運営協議会の設置や～小学校でのコミュニティ・スクールの展開などにより～」とあるが、コミュニティ・スクールとは学校運営協議会が設置されている学校のことを指すことから、ほぼ重複している。並列して記述することに違和感を感じる。</p>	<p>ご指摘を踏まえ、修正します。</p>
<p>P.29 「GIGAスクール構想」→定義が古い「GIGAスクール構想2.0」さらに続く次のフェーズを意識すべき、フィンテック教育など具体的な指標も提示すべきではないか？「LGBT」→これも定義が古い「LGBTQ+」が現状の立ち位置である。計画を作る事は、自信の立ち位置の把握をする事にとっても重要な役割を果たす。その意味で計画策定はとんでも重要である。何事にせよ、もっと知識をアップデートするべきではないか？</p>	<p>ご指摘を踏まえ、用語の修正をいたします。</p>

## 第六次鳥羽市総合計画後期基本計画（案）に対するご意見と対応等（2/2）

### いただいたご意見

55ページ、職員のモチベーション向上の項がありますが、モチベーション課が創設され、各課から有望な人材が引き抜かれ、人手不足に拍車がかかり、業務量が過大になり、逆にモチベーションが下がったという話をよく聞きます。変革のスイッチを入れ、スピード感ある政策を打ち出す市長を以前からずっと、大いに指示しておりますが、すこし軌道修正が必要では無いかと思い意見させていただきました。今の鳥羽市に必要なのは、人手を増やす事だと思います。賃金は現状維持、もしくは若干下げても、残業無し、週休3日、年給消化率100パーセント、副業OKの環境を作ってはどうか？教育訓練休暇制度もスタートする事から、それらの制度も忖度なく上席に言える職場環境づくりをし、即戦力となり得る人材を多数、民間から入れてはどうか？「モチベーション課」ではなく「情報通信DX課」「防災課」これが今の鳥羽市に必要なのでは無いか？と意見させていただきます。

教育ビジョンや鳥羽駅周辺のビジョンに対するパブコメとしても書かせていただきましたが、理念や目的、ここに書かれている計画に対してそこまで大きな違和感を感じませんが、やはりそれらが5カ年の間にどこまで達成できているか？ということの評価することができる仕組みや枠組みに欠ける印象です。ただし、市の大きな枠組みの中で細かくKPIを設定するなどと言うことは、国のレビューシートのように、業務負担だけ増えるだけで、あまり意味のないものになりかねません。下位の計画やビジョンに対して、必ずしもKPIを設定させずとも適切な評価を与える枠組みや有識者、モニタリング、既存資料、基礎資料を活用する制度設計についてはぜひ取り組んでいただきたいところです。特に鳥羽市海のレッドデータブック2023の発刊に関わらせていただいた身としては、RDBに限らず、その根拠となった資料や地域知、JAMSTECの協力によって構築されたデータベースなども活用されないのは実にもったいないと感じる限りです。その他、市費を投じて作られた枠組みやアプリなども含め、使わないなら使わないと位置付けるための振り返り、評価を与えるべきではないでしょうか。ご検討くださいませ。

### 市の考え方・対応

職員のモチベーション向上と心身の健康増進を図り、組織の生産性を高めていくことが重要と考えています。  
ご指摘の行政組織の在り方や職員の働きからも含め、社会情勢や行政ニーズ等を踏まえながら、確実な行政経営を推進してまいります。

ご指摘の評価方法の在り方については、お示しの指標を踏まえた内部評価のほか、産官学金労言で構成された鳥羽市総合計画審議会における外部評価を受けることで、計画の進捗を測ることを想定しています。  
ご意見を踏まえながら、引き続き、適切な評価指標を検討してまいります。